

東御ワインチャペルで「六五会」を

上原 昇 (2組)

私はさいたま市に住んでいますが、毎月 21 日に集まっている上田の同期有志の会「六五会」のメンバーに名前だけ登録しています。

8 月 21 日の例会は帰省の日程が上手く重なって、久しぶりの参加となりました。

今月の幹事は東御市に在住の荻原薫君（8組）で、参加人数は 10 名でした。

東御市といえば千曲川ワインバレーで有名で、荻原君によると東御市に 15 か所のワイナリーがあるそうです。今回の会場も「東御ワインチャペル」

(<https://winechapel.com/>)というビストロ&ワインショップで、我々世代にはちょっとお洒落すぎる感もある場所を幹事が選んでくれました。

しなの鉄道の田中駅からゆっくり歩いて 7、8 分、もともと教会として使われていた建物を改装して 8 年前にオープンしたという店内は、高い天窓と広々とした空間が特徴です。

乾杯した後、次々に供されるワインの説明など聞きながらの 2 時間は贅沢なひと時となりました。

帰りも少し涼しくなった夜道を田中駅まで歩き、上田駅までの乗車時間はジャスト 10 分間、駅を出た所で散会となりました。

以下は、今回の幹事荻原薫君からのメッセージです。

「六五会 8 月幹事の荻原です。今回は東御市田中の「東御ワインチャペル」で 10 名での例会となりました。東御市では平成 20 年に県内初のワイン特区を取得し、平成 27 年には周辺の 8 市町村による広域ワイン特区も取得しました。玉村豊男さんのヴィラデストワイナリーを筆頭に信州千曲川ワインヴァレー東地区でワイン用ぶどうの栽培が盛んになっています。

私は生食ぶどうの巨峰、ナガノパープル、シャインマスカット、クインルージュ等を栽培しており、これも市内で 300 軒の農家があり、ぶどう栽培は東御市の一大産業になっています。

この東御市のレストランで例会を開催したわけですが、暑さのせいもあり、まずはビールで乾杯、スパークリングワイン、各ワイナリーの赤ワインを肉料理とともに堪能しました。

中にはワインのお店にもかかわらず、「ウイスキーありますか」との要望もあり、

「ありません」と困った答えで、いつもの楽しい会となりました。
東御市では湯の丸高原に高所トレーニングトラック、プールを全国の聖地にすべく
行政とともに活動を続けています。次回幹事の際はローカルの場所もご案内します
ので楽しみに。」



参加メンバー：左手前から時計回りで
布施修一郎(6組)、島田甲子雄(1)、丸
山幸雄(2)、増澤賢一(9)、荻原薫
(8)、柳澤英明(9)、若林健(9)、小山
田秀士(7)、上原、吉田一雄(1)

(2024年8月23日記)

以上